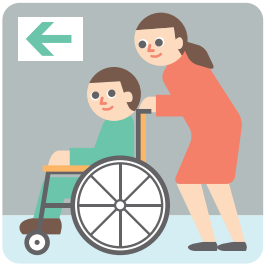
今すぐチェック! 災害時のユニバーサルマナー

●車いす利用の方が避難所で困ること



移動のサポートが必要
階段など、持ち上げて運ぶ際は3名以上で安全に行う。

広いスペースが必要
特にトイレや着替えの際は広めの空間を確保する。

長時間同じ姿勢でいると危険
床ずれの原因になるため、寝返りの介助やクッションの用意を!

●視覚障害のある方が避難所で困ること

誘導のサポートが必要
視覚障害者の半歩前に立ち、腕を持ってもらい歩きます。

掲示板の情報が読めない
声に出して、読み上げて情報伝達を行います。

周囲の状況がわからず不安
困っていても助けを求められないことも。迷ったら声がけを!

●聴覚障害のある方が避難所で困ること

館内放送が聞こえない
放送の内容は紙に書き出して、掲示する。

危険の察知がしづらい
車のクラクションや声に反応しづらいので、注意して見守る。

周囲の状況がわからず不安
筆談、口話(口の動きをゆっくり見せる)など別の方法で伝達。

●知的障害のある方が避難所で困ること

複雑な説明が理解しづらい
ゆっくり丁寧に、具体的でシンプルな説明をする。

否定・注意がわからない
「〜したらだめ」ではなく「〜しましょう」と行動を促す。

パニックを起こしやすい
いきなり体に触れたりするのではなく、優しく声をかける。

●精神障害のある方が避難所で困ること

環境の変化に馴染めない
ついたてや静かなスペース等、落ち着ける居場所を確保する。

コミュニケーションが苦手
不安やストレスが原因で、一人で抱え込んでしまう方も。

パニックを起こすことがある
優しく声をかけ安全な場所に移動するか、落ち着くまで見守る。

●内部障害のある方が避難所で困ること

外見からは理解を得づらい
本人と必要なサポート方法をていねいに確認する。

体調の変化や体力低下が激しい
横になれる場所や、静かなスペース等を用意する。

医療器具や薬剤が必要な方も
人工臓器を利用している方もいるので、必要物資を要確認。

フェイスブックおよびツイッターの
HEART & DESIGN FOR ALLの
公式アカウントで配信中!

Heart & Design for ALL
@HDFA_TOKYO

Project by HEART & DESIGN FOR ALL × MIRAIRO

企画・制作／東京新聞広告局